

国語でスピーチをすることは滅多にない機会だと思うので良い経験になったと思います。そして最近では中国人の方が会話をしている際に部分的にですが、内容を理解する事ができるようになり、中国語を履修してよかったと思っています。

フランス留学を体験して

文学部4年 今牧 千晶

私は1年間フランスに留学し、ストラスブールの語学学校へ通いました。ストラスブールはフランス北東に位置するコウノトリやクリスマスマーケットで有名な都市です。本当に綺麗なので調べてみてください。また、美しいことは勿論フランス留学は他の国への留学に比べてとても安いです。

留学で1番困ったことは住居問題です。渡仏までに住む家が決まらずルームシェアの面接の予約を取りフランスに着いた2日目に家を周りました。しかし、言葉は分らないし治安も悪そうで、犬達にいっぱい出迎えられ泣きそうになっていました。そして1番最後に訪れた家でくらしましたが自分の語学力が上がり学校でもクラスメイトに圧倒され発言ができませんでした。大家さん一家の上の階に暮らしていましたが他の同居人との日常会話が英語だったのでフランス語が上達せず3ヶ月で引っ越しをしました。次の家では老夫婦と30代のカメラマンの3人のフランス人と一緒に暮らしました。ご飯の時間が重なると一緒に食べ、一緒にパレードやパリに行ったりして日常でもフランス語を使うことからフランス語への恐怖心がなくなりました。自信をつけてからタンデム学習相手を探して日本語とフランス語の会話練習をしました。その交流関係から学生の集まりにも行くようになったのですが、タバコや酒にクラブを勧められて困った覚えがあります。私は体に悪いから、時間の無駄だからと言いましたが、本当にそれをやってみてそう思ったのかと返され何も言えなかった思い出が強く思っています。また同居人にも嫌なことがあるなら曖昧にしない

でちゃんと断りなさい、周りを気にしすぎだと注意されました。これらの経験は本当に今でも私に影響を与えています。皆さんにも是非自分について留学で考えてみてください。

フランスセミナー報告書

文学部3年 宮脇 巧

愛知大学では春休み・夏休みを利用した短期語学留学が毎年開催されていますが、今回僕はこの春休みを利用してフランスに1ヶ月間ホームステイをして滞在しながら、オルレアン大学で集中的にフランス語を勉強してきました。僕にとって初めての海外で、セミナー開始してすぐはホストファミリーとうまく会話ができずにあちらの予定が分からなかったり、環境が変わったことで体調が優れなかったりと色々辛かったのですが、困り事があれば、引率の先生やこのセミナーを通して知り合った友達たちに相談したりして、引率の先生が帰国してからは自分たちで解決できるようになりました。このセミナーでは愛大生だけのクラスが特別に設けられ、フランス人の先生方が授業をしてくれます。どの先生も外国人の僕たち相手でもとても熱心に授業してくださり、充実した学校生活を送れました。僕たちにとっては学校でも日常生活でも見るもの一つ一つが新鮮なことばかりでした。

一ヶ月僕たちが学び、生活を送ったオルレアンはとても住みやすい街でした。オルレアンはパリから電車で南に一時間の場所に位置していますが、市内は本当に美しく、落ち着いた街という印象でした。フランスは日本より治安が悪いと聞いていたのでかなり神経を尖らせていたのですが、徐々に慣れて土地勘がついて自分たちだけでの行動が当たり前になりました。週末には、各々でパリやストラスブールに行きました。これはプログラムにもともと組み込まれていたものではなく、自分たちで予定を組んで切符を買って旅行を楽しんできました。その次の最後の週には大雪のため延期されていたモン・サン・ミッシェル、サン・マロ散策も天候に恵

まれて素晴らしいものとなりました。このフランスセミナーを通して自分のフランス語の実力を知るとともに、そしてそれをどう伸ばしていくかというすべを見いだせた気がします。そしてこれからもフランス語を学び続けるモチベーション上昇にもつながったので、このセミナーに参加して本当に良かったと思いました。



異文化にふれて

文学部3年 菊山 紋加

大学での専攻が英語、という理由だけで決めた1ヶ月間のカナダ留学。

時差16時間という遠い地。言語も違えば文化も違う。そんなカナダで経験したことを書きたいと思います。

みなさんのカナダのイメージはなんですか。わたしはメープルシロップとサーモンくらいしか思い浮かびませんでした。カナダへ行ってみてわかったのはその自然の豊かさと、その自然と街の融合です。わたしの通った語学学校

は都市部のバンクーバーに位置していました。東京に匹敵するくらいの街でしたが、少し歩けば、海がみえ、自転車に乗れば世界の公園一位に選ばれたスターレーパークへ行くことができる。写真は学校からすぐの景色です。



そんなカナダには多くの人種の人々が暮らしています。日本では海外から来た人は肌の色の違いや、顔立ち、言語などによって目立ってしまいます。しかし、多くの人種が混同するカナダでは人種の壁はありませんでした。私のクラスには様々な国の人がいたのでクラスメイト達と母国について話したり、その国の伝統的な食べ物を食べたりしました。みんな自分の国のことを教えてくれたので、毎日楽しくランチタイムを過ごせました。

英語のほうですが、私のホームステイ先には多くのルームメイトがいたため、英語で話す機会が多かったです。ルームメイトたちと夕食後におしゃべりをするのが日課でした。ネイティブの方は英語を話すのが早いため、最初は戸惑いでしたが、生活しているうちに段々聞き取れるようになりました。語学学校では発音や、英

